

愛知医科大学 HIAMU

活 動 実 績 調 書

(1) 活動の名称	コロナに負けるな！瀬戸の子どもたちの学びを膨らまそう！
(2) 活動の目的・成果（※何を目指し、何が成果として得られたかについて記載）	<p>愛知医科大学HIAMU（Heart In Aichi Medical University）と愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター（CCC）の学生が、瀬戸の子どもたちのために協力し活動することによって、多くのことを生み出すことができると考え企画しました。その中でも最も大切なことは、両大学の学生が目指している将来のために得た知識によって、子どもたちに新たな学びを伝えることができるということです。それは子どもたちやそのご家族、そして両大学の学生にとっては、大きな喜びとなります。結局コロナが終息せず、対面で活動することはできなかったのですが、限られた中で皆が有意義で豊かな時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大学生が持つ専門性を生かしたテーマの授業によって、子どもたちの様々な興味を引き出すことができたと思います。・ 大学生のアイデアによる絵本、グッズ、クイズ等により、授業後のコロナ禍の家庭で、子どもたちにとっても、そのご家族にとっても、少しでも実りある時間を過ごすことができたと思います。・ 大学生とのオンライン交流を通して、子どもたちが様々な思い出を作れたことで、成長した後（大学生になった時など）に、同じように地域の子どもたちに関わる人になってくれると思います。
(3) 活動の実施内容（※活動の実施方法、時期、場所、回数、市民等への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載）	<p>2021年7月～2022年1月の月1回の土曜日（7月のみ金曜日・祝日）10時30分～11時15分、ZOOMを活用した45分間のオンライン授業を行いました。コロナが早く終息すれば、市の施設等をお借りして対面で行いたいと考えていましたが叶いませんでした。</p> <p>各回の前に両大学の学生間でオンライン会議を行い、授業内容を決め準備をし、リハーサルを行った上、オンライン授業に臨みました。</p> <p>① 活動日：2021年7月23日（金・祝）『熱中症に気をつけよう！』</p> <p>参加児童1名、参考資料：記録写真、チラシ</p> <p>熱中症はどんなときに起き、どんなことに気をつければいいのかについて説明を行いました。</p> <p>また、脱水チェックや熱中症対策の内容については、オンライン上で実践形式を交えながら説明をしました。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自己紹介・ 熱中症はどんなときに起きるの？・ 熱中症の症状・ 脱水チェック 実践形式 ⇒（手の甲の皮をつまむチェック、親指の爪をつまむチェック）・ 熱中症対策 実践形式 ⇒（ユニセフが推奨する家でも作れる経口補水液の作り方）・ クイズ（①熱中症の子はどっち、②熱中症になったら誰を呼ぶ、③暑い日に外でいっぱい遊ぶためにはどの場所がいい、④熱中症のときに飲むものはどっち、⑤気温が何℃の日に気をつければいい）

② 活動日：2021年8月21日（土）『みんなが食べたものはどうやって体の中をとおっていくの？？』

参加児童1名、参考資料：記録写真、チラシ

食べ物は、どのようにして体の中を通っていくのかについて説明をしました。

- ・ ごはんを食べると何になる？
- ・ ごはんはどのようにして「うんち」に変わるのだろうか？一緒に食べ物の通り道を見ていこう！
①口 ②食道 ③胃 ④小腸 ⑤大腸 ⑥肛門
- ・ どうしてデンプンを分解する必要があるのかな？

授業後の郵送物☆

絵本（小腸は実物大）

③ 活動日：2021年9月18日（土）『防災について学ぼう！』

参加児童9名、参考資料：記録写真、チラシ

子どもたちに防災に関して興味、関心を持ってもらい、もしこの地域で地震が起こった時にどのような心構えをした方がいいのかを知ってもらえるように説明。

- ・ 昔、大きな地震があったよ。阪神淡路大震災、東日本大震災の様子
- ・ もしも、みんなの周りで地震が起こったら…クイズ
（困ったら、どこに連絡するの？ 避難所には何を持って行ったらいいかな？ など）
- ・ 避難所で役立つ 新聞スリッパ作り
- ・ 避難所でつらくなったら、みんなで分けようお菓子ポシェットについて
- ・ まとめ

授業後の郵送物☆

避難所で活用するお菓子ポシェットの作り方

④ 活動日：2021年10月16日（土）『アレルギーについて学ぼう！』

参加児童4名、参考資料：記録写真、チラシ

アレルギーはどうして起こり、どのような症状があるのかについて、オリジナルの物語やクイズ、お笑い芸人のアレルギー症状に関する動画なども活用し、子どもたちに楽しく学べるように授業を行いました。

- ・ アレルギーって？
- ・ オリジナルの物語（アレルギーについて）
- ・ お笑い芸人のアレルギー症状に関する動画（多くのアレルギーを持つお笑い芸人の狩野英孝さんを事例に挙げ、自らのアレルギー遍歴を話したり歌ったりする動画を流し、様々なアレルギーの種類について解説を行った。）
- ・ アレルギーになるとどうなるの？
- ・ アレルギーに関するクイズ
- ・ アレルギーへの対処法
- ・ アナフィラキシーって？
- ・ まとめ
- ・ 質疑応答

⑤ 活動日：2021年11月20日（土）『世界のトビラをたたいてみよう！いろいろな国の文化を知ろう』

参加児童4名、参考資料：記録写真、チラシ

世界には沢山の国があり、それぞれの国に文化の違いがあることを楽しく知ってもらいたいと思いました。

- 世界地図を使って、世界を見る（日本はどこだと思う？いろいろな国があるね）
- 今日、勉強する国は「ベトナム」「タイ」「アメリカ」
- ベトナムについて
- タイについて
- アメリカについて
- 3つの国のクイズ
- まとめ

世界のいろいろな国の人たちと仲良くなれるといいね。仲良くなるためには相手の国を知ること。知った後、ちょっぴり気持ちを近づけること（言葉を勉強してみよう！→こんにちは。ありがとう）。もっと近づきたくなったら、大きくなった時に行ってみよう！

授業後の郵送物☆

NPO法人WAFCA監修で愛知淑徳大学生が作成した絵本
「困っている人がいたらどうする？」の画用紙絵本

⑥ 活動日：2021年12月18日（土）『知ってほしいフェアトレード！』

参加児童1名、参考資料：記録写真、チラシ

今回は参加者が1名ということで、会話を楽しみながら授業を行いました。フェアトレードという難しい内容を、紙芝居やフィリピンでのお話など実話も交えながらゆっくり説明しました。ご家族も丁寧に会話に入ってくださいって有難かったです。

管理栄養の学部の学生なので、フェアトレードチョコを使ったお菓子のレシピを紹介し、簡単に作ることができる工程の説明も行いました。それが終わると、今度、家族で作りますねと言ってくださいました。お母さんも栄養士ということで、皆で一緒に栄養に関する話題で盛り上がりました。

- 「フェアトレード」って聞いたことある？（フェアトレードの説明）
- フェアトレード紙芝居
- 身近にある品物、どんなものがフェアトレードかな？（クイズ→解説）
- フェアトレードチョコを使った簡単に作れるチョコマフィンの解説
- 目の前で作ってみるね（クッキング）
- まとめ

⑦ 活動日：2022年1月15日（土）『血液の流れ・循環について』

参加児童4名、参考資料：記録写真、チラシ

血液の流れや赤血球などの働きについて説明をしました。また、実際に子どもたちがけがをした時にどう対処するのかについて知ってもらうために、症状ごとの対処法についても説明しました。

- 血の作られているところはどこか分かるかな？
- 血液は何でできているのかな？
- 赤血球・白血球・血小板の働きについて
- 血液の流れについて
- 動脈・静脈について
- けがをしたときの対処法（切り傷・擦り傷の処置）
- 病院に行った方がいい傷は？

手洗い動画「バイキン大王をやっつけよう！！」（愛知医科大学HIAMU作成）

最後に、体の中にはばい菌が入るのを防ぐために、オリジナルの手洗い動画を視聴しました。

(4) 活動実施上の工夫 (※活動の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫した点について記載)

受講児童を集めるために、毎回デザインを工夫したチラシを作成し、下記の瀬戸市内の公共施設に各30部配置し協力していただきました。

- ・ 瀬戸市立図書館 (ホームページにも掲載)
- ・ 情報ライブラリー
- ・ ノベルティ・こども創造館
- ・ せとっ子ファミリー交流館
- ・ 交通児童遊園
- ・ 子ども・若者センター
- ・ プレイルーム/おもちゃ図書館

その他、「せとっ子ネット」ホームページに掲載、こども未来課から放課後学級・子ども会連絡協議会への情報提供を依頼。

オンライン授業なので、毎回離れていても分かりやすく説明できるように、教材は手作りの物を心がけました。

また、オンライン授業だと、その場だけになって忘れてしまいやすいので、消化の絵本やお菓子ポシエットなどの作成物を後日ご自宅に郵送することで、復習してもらったり、家族での会話が弾むように考えました。

① 活動日：2021年7月23日 (金・祝)『熱中症に気をつけよう!』

初顔合わせということで、子どもが緊張しないように簡単な自己紹介から入り、子どもへの問いかけを増やして、コミュニケーションを深め易い雰囲気づくりを意識しました。最初は恥ずかしそうにしていたのですが、途中から問いかけにも答えてくれました。特に脱水チェックを実践した際には、子どもも一緒に取り組んでくれました。家で作れる経口補水液の紹介では、実際に画面越しで一から経口補水液を作り、味の感想も伝えました。脱水チェックも経口補水液も簡単に家でできるので、是非取り組んでみてほしいです。今回は文字で説明するだけでなく、実践形式で伝えるということを意識し工夫しました。学校の授業の「実験」に近いことをしたため、子どもも興味を示して見聴きしてくれました。

授業終了後に、参加者の子どもから「楽しかったです。」、保護者からは「分かりやすいお話で、面白い場面もあり楽しく聴けました。」という感想をいただきました。

② 活動日：2021年8月21日 (土)『みんなが食べたものはどうやって体の中をとおっていくの??』

「みんなが食べたものはどうやって体の中をとおっていくの??」というテーマですが、子ども食堂という題名で子どもが分かり易いイラストを使用して、食べ物を消化して排便するまでの流れの説明を行いました。それぞれの解説では、こちらが説明する前に、「～だろう??」というスライドを作り、一度子どもに考えさせるような工夫をしました。また、難しい用語 (胃酸・デンプンなど) は小学生ができるだけ分かるようにかみ砕いて説明をしました。

食べたものが消化されて排便されるという日常生活の当たり前の現象ですが、体の中でどうなっているのかについて今回の授業で理解してくれたと思います。授業後には、今回の授業で説明した内容をお家で復習できるように消化の絵本を作成し、プレゼントしました。実際の小腸の長さが理解できるように、絵本の付録として切り紙で小腸を再現したものをつけて、子どもに楽しんで学んでもらえるように工夫をしました。

③ 活動日：2021年9月18日 (土)『防災について学ぼう!』

地震に備えて準備した方がいい防災グッズ、避難所での過ごし方などもクイズにして楽しく学べる

よう工夫しました。

子どもたちが楽しく参加してくれました。過去の阪神淡路大震災や東日本大震災の話にも触れ、子どもたちが生まれる前に大きな地震があって、大変な状況であったことも伝えました。地震に備えて少しでも意識してくれるようになったと思います。

④ 活動日：2021年10月16日（土）『アレルギーについて学ぼう！』

アレルギーは誰しも起こりうる身近なテーマだったため、子どもたちも真剣に耳を傾けて聴いてくれました。保護者の方からも最後に質問をいただき、興味を深めていただきました。

医学部で学んだ知識をただ伝えるだけでなく、お笑い芸人のアレルギー症状に関する動画を活用するなどユーモアを交えながら伝えることを意識し、飽きることなく聴いてもらおうと工夫しました。また、説明の途中でクイズを出し、その場でアレルギーに関する理解度を確認しながら進めていきました。子どもたちも積極的に参加してくれました。今回の授業が日常生活で少しでも役立ってくれれば良いと思います。

⑤ 活動日：2021年11月20日（土）『世界のトビラをたたいてみよう！いろいろな国の文化を知ろう』

子どもたちの年齢を考えると少し難しかったかもしれませんが、一生懸命聴いてくれている様子は伝わってきました。ベトナムの食べ物やタイの綺麗な民族衣装には、声を上げてくれていました。どの国も自分たちが行って、その国で見えてきたことやその国の子どもたちの様子を分かりやすく伝える工夫をしました。

授業が終わった時に、大きくなったら行ってみたいと教えてくれたことが嬉しかったです。

⑥ 活動日：2021年12月18日（土）『知ってほしいフェアトレード！』

子どもたちに「フェアトレード」という言葉やその意味を知ってもらい、日常の生活の中で意識付けできたらと思いました。買い物に行った時にフェアトレード商品を手にとってみることや、発展途上国の子どもたちのことを気にかけてみることなど。子どもたちにはなかなか難しいことなので、今は知ってもらうことから始めて、高学年になった時により興味を持って学んでもらいたいと考えて行いました。

⑦ 2022年1月15日（土）『血液の流れ・循環について』

血液の循環や赤血球など少し難しい内容でしたが、子どもたちもZoom授業に慣れてきたのか、こちらの質問や声掛けに対して積極的に発言をしてくれました。

是非日常でも活用してほしいと思い、手首の脈の測り方やけがをした時の処置の仕方などを実践しました。最後に手洗い動画を視聴してもらいましたが、子どもたちは楽しそうに自分たちの動きを真似してくれました。

(5) 活動実施上の反省点（※具体的な反省点等について記載）

反省点というより、最後までコロナ禍で、子どもたちと会えなかったのがとても残念でした。そのような限られた中でしたが、毎回両大学で全力を尽くして企画し、準備・リハーサルをし、オンライン授業に臨みました。皆で有意義で豊かな時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。

子どもたちは、画面上に自分たちの姿が映り、画面の向こうのお兄さんやお姉さんから話が聴けるのが嬉しかったそうです。医学に興味を持った子もいたようです。

参加してくれたお子さんのお母さんから、以下のようなメールを頂いております。

今回のプログラムに参加させていただきありがとうございました。

感想を送らせていただきます。

題材が少し難しいものもありましたが、学生さんの工夫でわかりやすく、楽しくして下さったのがとても伝わり、子どもも意欲的に参加していました。難しい題材も親はわからないだろうと線引きしてしまいましたが、こういったプログラムなので学べたと思います。子どもも次は〇〇だからと本人なりに予習したり、終わった後も子どもも親も話題に出たりと、その時だけでなく継続して学ぶことができました。また、終わったあとの絵本やおやつ作りの材料なども喜んでいました。特に絵本はかなりの大作で長一い小腸に喜んでいました！今回、参加させていただくことができとても良かったです。ありがとうございました。パワポの表記の漢字が読めないものがあったので、読みがなやひらがなであるといいかなと思いました。

また機会があれば参加させていただきたいです。直接、お会い出来るのを楽しみにしています。